

夜完全にいた

道路の關係でグラント南側の道路の改修が本町八町内より福生病院に通ずる道路の新設等につき陳情がある。これも相当協力をするとして本年交なんふやとい

町長 福生町内は注意しようがす。(町内村々迷惑をかけることなるかも知れず)

競輪開催権の譲渡については青森村中へ王と米と四ツに組んで行っている。二人の足にはきかぬ来るもの。れぬとの通報もきく。去月三日月の末議決とミケ村代表者と協議した。それより関係方面にも陳情して来た。次で多少の取もあるようである。至急心する。務上の手続とさせる必要がある。至急心する。担任者と派遣した。上層部と事務当局との連絡が出来てから一応けられたい。私に行つた時一応了解を得た。至急心する。務組合と交渉する。至急心する。致取としたい。至急心する。の作製上議決を必要とする。場合等には至急心する。承知願いたい。本年までの福生二百町他が五町四丁である。二百町四丁内百町は特別交付金として確定とみなす。その特別交付金として百五万と交付出来るように手

配するといふことである

五町学舎住宅の設置について

町長 返済補助金等について学舎住宅の設置が出来るといふ。福生五日町が指

定され、工費の四分が町の補助金があてられる。

町長 割当は三丁外で三八、九年までに建設することになる。

大休家賃として二五町四丁は定收されることになる。位置としては事務所の裏

地である。保田地等と送る。

六、定時刻高校の誘致について

町長 福生としては商工関係と誘致したい。町内には普通科のみである。

現在瑞市に農林学校の定時刻がある。これを引く。至急心する。瑞市が町を定時刻

又農業系統でキリ又昭和の引く。至急心する。又同様である。

現在農林学校にある家庭科科を至急心する。割と預ける。至急心する。

商工科科

若し福生は定時刻が出来るといふ。至急心する。家庭科、農商科等といたうの農林

学校長の意見であり、獨断した学校長といふ。

「混血児の收容所」

「町長」町長とは、直接関係はないが、私が関係しているを報告する。

沼の七名より見複合を行ひ、竹達、浅沼、田村等がこの町より送り入れする。

混血児は現在、山石でこの内里各系系統一石がある。

貸向

「船木」土不事業中、道路の改修等については出来る限り、其地より貸付、答具

等と併せてやるかどうか。

「助役」其地の方で貸しをしようか、どうかは別々だが、努力したい。

「田村」予算は五日頃迄に送付願ひない。

「助役」当初予算の完成は日付を要する。その上に概算を提案して、そこで

審議の上、細部のものと決まるといふ。

(五日)

「議長」副議長及常任委員長の選挙、とやりたがう。

「森幸」五日は組合の関係で都合が悪い。

「議長」八日のうちの中に決まらん。

午後八時四十分終了。

（空欄）

町議会協議会（臨時会終了後）

昭和三十一年三月八日午後三時十分

慰霊塔建設について

助役 建設地とグラント南側との旨の相談で決まらん

敷地が決ますれば彼等中心地鎮祭を行なう意向であった

村益 橋或人員は

助役 各種団体とも議会町会長会郷友会まの団体等の正副会長であり

議会側は五名である

船木 字句は何んでもよい、忠の字も使用しても差支えなと思ふ、その方が遺家族も好感

をもつてはよい。

助役 敷地はグラント南側と、中学校附近等と三候補地が上げられ、グラント南側の欠

がよいとの結論に達した

村益 その場所には少々、そうくーい。

西村 船木氏が軍事備ふと云ふ事は日本では憲法で戦争は放棄してゐる。

忠告塔をもうゝはんか別な文藝的な作りをするかそれにより先祖のやぶるを想起させると同時に今後の発展の資料に繋ぐものか。

船木 現状から云へば中心をなす使用としてもよいが、今後は多少の精神は必要ではなか。議長 場所としては

変幸、このが発展する場合は支障があるか、一応内見討を要する。

井上 現場は撤木もよし適當な所とは思ふ。

船木 東方の松林に敷地はよろいか。

西村 遊園地をようは施設を具備した公園化と云うようや計画と併向してやうか。

もてあり、福生市の将来を現る予期して多角丘陵等が望ましい。

森誠 昨日の委員会に於て中心の字の使用、位置等も検討したか、カ、カ、カ、候補地の外

牛渡中福生、中間等も考慮されたか、予算等の関係もあるが、グランド

上と決定した撤木等も黒土があるのではなからうと思ふ。

田福 安易な気持ちで決定したから。

森幸 現在に於て最適當の場所がグランド上かよと思ふが将来使ふ考えると必ずしも好適とは云へない。

田福 野村の意向も合同設置を希望している。

議長 正副議長、又正副委員長と評議員との合同会議を用いて決定したい。

西村 町内、町外かを決定すると思ふ。

村禮 グラント上の面積は

助役 五、五、五坪位ある。

瀬古 遺族の所持が第一条件であると思ふので、この所位の限定されるか。

井梅 私としては今迄の所に決定するが、要当ではなからいか。

瀬古 忠、字の使用については全国の例によればよい。

助役 高台の整地については当初、三分の一をやればよい。

西村 グラント高台に設置してもよいかそれと関連した緑地帯の設置も考へるべきである。

議長 グラント南側高台を敷地とする事を詔り、全会一致で決定する。

一保育園の設置申請について。

一 天野 申請書を朗読

一 田福 専主会員付託

森 財政委員の財政の裏付をうけて付託されたい

議長 専主会員会付託とする

一 競輪開催について

一 助役 三十七年度に於ける二百万円を補助することに決定したものの外、二百万円を特別平衡交付金とし、専主は基地に開通する道路の改修に充てることとする
三十七年度に於ける特別平衡交付金は、外費の道路修理の費用に充てられた
報告をもち出す

一 瀬古 三十七年度に於ける開催は同前であるか

一 助役 他町村にたいしぬかれようにしたい

一 議長 全員でやる気構をやって頂きたい

一 議長 三十七年度の予算議会は、十二日午後一時と決定、終了後前議長の慰労会を開催したい

學
度
別
帶
納
密
頭
問

税 目	24 年度	25 年度	26 年度	計
町 民 税	206,869 〇〇	541,382 〇〇	1,623,926 80	2,372,178 〇〇
固定資産税		439,214 〇〇	1,076,946 〇〇	1,516,160 〇〇
そ の 他	716,176 〇〇	597,906 〇〇	189,325 〇〇	1,503,407 〇〇
計	923,045 〇〇	1,138,502 〇〇	2,890,191 80	5,339,739 20

部著別年度別標準件數

〔註〕 (一) 内各都府縣件数
件数とは税目別期別とす (例 町下税ノ期ノ件)

協議会

28. 3. 12 午後四時

定例会終了後

議長、三九日の懇親会につて

幹事は常任委員会より各一名とする

総ム 並木竹松

石生船木喜平文

教西村節

建設井橋泰輔

産業 橋本雄一

治安村尾四郎

田村利一

伝病、大森防組合の議長であるが、こゝで新議長に代り頂くとい

要議より先起る

議長

要議をふと語り、要議のみを認め、その席にいつと日を述べる。

田村利一

水道委員長の解任を願ふとい

尚任の希望

議長

それでは尚任とするに日を述べる。

佐病議会の事は、佐田幸彦氏も并、同じである。

助役 改良区の改良について

昔の耕地整理である。その区域は、下、車塚と下の川、おれたいがそれと入れると、それも改良区となるが、改良区として、その特別の配慮を願ふ、旨申入れあり、是、決議として、い、と申入れあり、了解を願う。

村長 福吉町の特別として、おれたい配慮されるのは、そのものは、農業者ばかりの、影響が多いので、特別交付金まで、何ん等かの援助として、頂きたい。

村益 川の排水が、悪影響、御言とおよ、と、水稲等は、そのりの被害を受け、てい、

議長

森 幸 田用水組合に迷惑を及ぼすものと頂きたい。

議長

必要にして、産業委員会にも諮り、善処することに決ま、てい、

午後四時三十五分

福吉町議会協議会（八、ス、ス、十、三、の、本、会、議、終、る、信、）

防犯協議会について

助役 前より福吉町と警察管内の防犯協議会結成の話は、あつたが、その日、福吉の各方面の代表が集り、その機運が熟して、また町に進行を依頼された。これにより、管内を通じて連合体結成まで進めるよう話合つた。

将来暴力行爲等、発古に於ける防上等、迄も進める、とある。

治安委員長 十七日の委員会も、開き、研、討、した。予、算、す、べ、し、同、題、だ、あ、る、う、で、町が、主、体、と、な、つ、た、も、の、こ、あ、る、べ、き、で、あ、る。

西村 防犯協会は、警察が、部落に、直接話して進めて来た、その行、方、も、多、少、の、疑、を、ま、じ、り、な、い、町、村、の、連、合、体、を、作、る、に、際、し、て、町、に、依、頼、し、て、来、た、と、は、不、明、朗、な、話、し、で、あ、る。

町長 町会長会議も、長、と、い、う、よ、う、な、私、的、な、団、体、に、よ、り、進、め、ら、れ、た、防、犯、協、会、の、主、体、と、な、り、二、三、の、者、の、リ、ー、ド、に、よ、り、話、合、が、進、め、ら、れ、て、い、る。その、田、の、会、議、に、於、て、も、議、会、に、治、安、委、員、会、が、あ、る、う、で、こ、れ、も、話、つ、て、話、し、進、め、る、よ、う、保、留、

した

西村 させしまった問題ではない。それにより従業員病と云うようである。思節一々残すおそれもある。

治安委員長 今の防犯協会は警察、附属機関のよう。印象を受けるが防犯協議会をもっと自主的に進められると思う。

船木 今になって町が中心になってと云う話はまた防犯協会が町に関係なく出来たものだ。町が今更中心になる必要はないと思う。

町長 何が賛成も戴き話と進められた。治安委員長 自主的なものと進めたい。

橋本 警察より要請されて作ったのである。議長 町の治安委員会の主権とする防犯協議会の結成に進められた。

治安委員長 町の防犯協議会が防犯協会並に監督する意味で必要だと認

議 町長と治安委員長は一任をたい。

夏の手当について

町長 唯今迄所取員への要求するが町長 議長 合同会議では月収

五割と決ったが北多摩警察面と叶取して幾分の地を待たせたい。

議長 本町下の松は五割と線と一応決定した。多分の含みと云うことである。

議長 会では五割と云うことになった。

西村 青梅市はどうか。議長 同席にいた。

西村 青梅市の場合ももうと研究された。

議長 青梅市は税中もの。今目となるものね。

西村 青梅市が五割に達するとしてれば七割の能力がある。

市福 北多摩警察は美際な割と聞かせる。

西村 青梅市は五割と云うと基本として委員会所託に賛成する。

議長 概ねの線は五割と云うと青梅市をみにつけても総務委員会に付託する。

